

19 麻酔科フェロー研修要綱

指導責任者 宮津 光範

対象： 一般病院あるいは大学病院等において、ある程度の成人麻酔業務を経験し、これから新たに小児麻酔を勉強したい麻酔科医。麻酔科後期研修プログラム最終学年もしくは麻酔科専門医取得前後が望ましい。

目 標

小児患者および妊婦の麻酔・周術期管理を経験することにより、安全で質の高い麻酔を提供できるようになること。小児および妊婦における疾患・病態・生理・解剖・薬理を正しく理解し、できるだけ多くの症例を経験することにより、小児麻酔および産科麻酔の周術期管理能力を身につける。

カリキュラム

1. 術前診察と麻酔計画

手術前の患者および保護者とコミュニケーションをはかり、全身状態を把握し、適切な術前評価ができるようになる。小児の発達の段階での違いを理解した上で、適切な麻酔計画・麻酔管理を行うことができるようになる。

2. 小児麻酔全般および基本的手技

小児麻酔の基本であるマスク換気、声門上器具挿入、気管挿管および血管確保手技を身につける。仙骨硬膜外麻酔、エコーガイド下中心静脈穿刺や末梢神経ブロックを安全に施行できるようになる。新生児を含む小児の緊急手術についても指導医とともに経験する。

3. 先天性心疾患の麻酔

病態生理、治療方針などを理解した上で、麻酔管理および周術期管理に参加する。手術中の経食道エコーの操作および術中診断に関して、小児循環器科医および心臓外科医と対等に議論できるまでの知識と経験を身に着けることを目標とする。術後管理は小児集中治療科が行うが、麻酔科内にも集中治療専門医が在籍しており、PICUでの術後管理を見据えた上で一貫性のある麻酔・周術期管理を行えるようになることを目指す。

4. 周産期麻酔

胎児診断のついた妊婦の麻酔および周術期対応を学ぶ。

新生児の特性を理解した上で、新生児麻酔を安全に施行できるようになる。

5. 教育

最新の高機能シミュレータ（高忠実度マネキン）を用いた麻酔シミュレーション、ケースカンファランス、座学レクチャー等の組み合わせによる体系的な **off the job training** プログラムを毎週金曜日午後（フェローは麻酔 **duty** なし）に経験する。他施設と連携したオンラインジャーナルクラブを主催し、その発表者になる。それ以外に全指導医からテーマ別のレクチャーを毎月受ける。

6. 研究

指導医とともに臨床研究を行い、英文論文執筆を行う。統計の専門家、臨床研究の専門家が麻酔科に在籍しており、フェローは直接手厚い指導が受けられる。